

各位

マネックスグループ株式会社  
代表執行役社長 CEO 松本 大  
(コード番号 8698 東証第一部)

(訂正)2021年3月期 決算説明資料

当社は、2021年4月27日に発表した「2021年3月期 決算説明資料」について一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 訂正の理由


当社が本日発表いたしましたプレスリリース「(訂正・数値データ訂正)『2021年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)』の一部訂正について」をご確認くださいませ。

2. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しています。

P37「連結財政状態計算書のポイント」(全2カ所)

(訂正前)

連結財政状態計算書のポイント 

「資本」と「固定的な資産」の差額を、事業投資と株主還元の原因とする

◆連結財政状態計算書の概要 (2021年3月末)


資産	負債	※1 固定的な資産
14,011億円	13,106億円	有形固定資産 50億円
主な資産は金融商品 取引業に関連するもの 10,626億円	主な負債は金融商品 取引業に関連するもの 12,653億円	無形資産 (のれん) 172億円 ※2
その他 1,044億円	その他 453億円	無形資産 (識別無形資産) 85億円 ※3
現金及び現金同等物 1,267億円		無形資産 (ソフトウェア等) 191億円
固定的な資産 ※1 574億円	資本 905億円	持分法投資 3億円
		有価証券投資 (レベル3) 73億円
		※2 のれん 172億円 日本78億円、米国90億円、アジア・パシフィック4億円
		※3 識別無形資産 85億円 米国61億円、アジア・パシフィック4億円

資本 (905億円) と固定的な資産 (574億円) の差額330億円を以下の原資とする

- 海外含む証券子会社等における自己資本の維持に関する規制への対応
- 将来の事業投資に備える内部留保
- 株主還元 (配当金+自己株式取得)

37

(訂正後)

連結財政状態計算書のポイント 

「資本」と「固定的な資産」の差額を、事業投資と株主還元の原因とする

◆連結財政状態計算書の概要 (2021年3月末)

資産	負債	※1 固定的な資産
14,011億円	13,106億円	有形固定資産 50億円
主な資産は金融商品 取引業に関連するもの 10,626億円	主な負債は金融商品 取引業に関連するもの 12,653億円	無形資産 (のれん) 172億円 ※2
その他 1,121億円	その他 453億円	無形資産 (識別無形資産) 85億円 ※3
現金及び現金同等物 1,640億円		無形資産 (ソフトウェア等) 191億円
固定的な資産 ※1 574億円	資本 905億円	持分法投資 3億円
		有価証券投資 (レベル3) 73億円
		※2 のれん 172億円 日本78億円、米国90億円、アジア・パシフィック4億円
		※3 識別無形資産 85億円 米国61億円、アジア・パシフィック4億円

資本 (905億円) と固定的な資産 (574億円) の差額330億円を以下の原資とする

- 海外含む証券子会社等における自己資本の維持に関する規制への対応
- 将来の事業投資に備える内部留保
- 株主還元 (配当金+自己株式取得)

37